



とっとりふれあい人権マンガ大賞入賞作品【一般の部】

〔大賞:1点 優秀賞:6点〕

賞	作品	作品名	紹介文	氏名	都道府県
大賞		変えなきゃならない過去がある！	「ユニバーサルデザイン」は、デザインという意味で、物やサービスができる前に、あらかじめ計画する事です。しかしながら、すでにできて機能してしまっているものもあります。過去を変えるのはダメらしいですが、もし「タイムマシン」があれば、すでにある事物に時をさかのぼって手を加える事ができるでしょう。今ある困難や現象を教訓に、今後の「ユニバーサルデザイン」に生かしていきたいものです。	木下 佳威	奈良県
優秀賞		みんなで作るユニバーサルな世界	ユニバーサルデザインということで、文字の読めない人や障がいのある方にも、見るだけで思いを伝えられるマンガにしたいと思い、あえて文字を入れないコママンガにしました。文字の分からない小さな子供から大人まで、マンガの中からいろいろなユニバーサルデザインの物を見つけて、楽しみながらユニバーサルデザインへの関心を深めていってもらえたらなあという思いで描きました。一人ひとりがユニバーサルデザインに関心を持ち、アイデアを出し合って考えていくことで、ユニバーサルデザインにあふれた世界が作られていくという意味から作品名を「みんなで作るユニバーサルな世界」としました。	桐谷 衣以奈	愛知県
優秀賞		自分で出来るって楽しい	小さな子ども達が、ユニバーサルデザインのハサミを使っている様子です。誰もが使いやすいデザインが増えれば、その分、多くの人が笑顔になると考え、この1コマを描きました。また、ユニバーサルデザインということで、漢字にルビをふる工夫をしています。	足羽 真奈	鳥取県
優秀賞		欲しいなあ	老人も積極的に行動できる社会であって欲しいと思いマンガにしました。	伊藤 文人	神奈川県
優秀賞		身の周りにあふれるユニバーサルデザイン	今回のテーマがユニバーサルでしたので調べてみたところ、自分が思っているよりも多く私たちの身のまわりにユニバーサルデザインがあることを知りました。身近にあるシャンプーや牛乳やお酒の缶などもユニバーサルデザインだと知らなかったのも、初めて知った時にはとても驚きましたし、ほかにはどんなものがユニバーサルデザインなのだろうと興味を惹かれました。中心の男の子と女の子のまわりを囲むようにユニバーサルデザインのものたちを配置することで、身の周りの普段何気なく使っているところにもユニバーサルデザインがあるということを表現しました。もっと身近にたくさんユニバーサルデザインが増えることを願っています。	平出 悠希	広島県

とっとりふれあい人権マンガ大賞入賞作品【一般の部】

〔大賞:1点 優秀賞:6点〕

賞	作品	作品名	紹介文	氏名	都道府県
優秀賞		昇降いろいろ	<p>新商業ビル、ちょっとした駅などには、色々な昇降機器が設置されていて、健常者以外もある程度自由に昇降でき、我々高齢者も助かっています。しかし、元気な若者がやたらエレベーターやエスカレーターを利用したり、歩行者の邪魔になるような行為もあり、気になっています。小生は比較的元気ですが、70歳代も後半で、脊柱管狭窄症と膝関節痛で階段が苦手ですが、傾斜の緩やかな坂道なら苦になりません。歩道橋などエスカレーターの代わりにスロープでも付けて頂ければ有難いし、車椅子やベビーカーも楽々、対策予算も削減できるような気がします。以上の思いを込めてこの漫画を描き上げました。</p>	鬼頭 克治	愛知県
優秀賞		弱者にやさしい遮断機設置の横断歩道	<p>「横断歩道」を横断中の人が交通事故に巻き込まれるニュースを見聞します。子供、高齢者、身体が不自由な人、には信号設置された交差点の「横断歩道」を渡れば安全かもしれませんが、長い距離を歩くことも辛く、つい近くにある信号の無い「横断歩道」を渡り事故にあってしまいます。そこで…自動車の運転者に「横断中の歩行者」がいることを知らせる方法として「遮断機」を設置をすれば「事故の減少」つながるのでは……との思いをマンガに描き上げました。</p>	中西 伸治	滋賀県